

大学・短大等現役進学率は52.9% 5年連続の上昇で、過去最高に！

旺文社教育情報センター 平成20年8月

平成20年度の大学・短大等への現役進学率は過去最高の52.9%となり、5年連続の上昇となったことが、このほど発表された文部科学省の『平成20年度学校基本調査速報』でわかった。また、今回の大学・短大への入学状況から、中央教育審議会大学分科会が予測（平成17年）した“全入”はさらに先延ばしとなっている。ここでは、20年度の大学・短大に関わる諸データを分析・紹介する。

■「学校基本調査」とは？

「学校基本調査」は、学校の教育行政に必要な基本的事項を明らかにするために、統計法(国の統計に関する基本法)に基づいて実施される調査。例年、文部科学省が幼稚園・小・中・高校・中等教育学校・専修学校・大学・短大など、すべての学校を対象に、学校数・在学・卒業生数や、入学・卒業後の状況などを調査する。

調査結果(5月1日現在。ただし、卒業後の状況は前年度間)は例年、「速報」が8月、正式な「報告書」が12月にそれぞれ公表される。

*文中の「高認」は、「高等学校卒業程度認定試験合格者」のこと。

■大学・短大への受験状況

◆「現役大学・短大受験生数」は65.5万人

20年3月の高校卒業生数(中等教育学校後期課程1,018人を含む)は108万9千人で、19年度より5万9千人(5.1%)減少した。

このうち、大学・短大への受験生数(実数:ここでは、「基本調査」の志願者数を受験生数としている。以下、同)は65万5千人で、19年度より2万人(2.9%)の減少となった。これは18歳人口の減少(前年度より6万2千人<4.8%>減)とそれに伴う高校卒業生数の減少の影響とみられる。(図①・表1参照)。

◆「現役大学受験生数」は2.1ポイントダウン

現役受験生を大学・短大別にみると、大学では19年度より1万2千人(2.1%)減の58万3千人となった。短大の現役受験生数は、7千人(9.2%)減の7万2千人。なお、浪人の大学受験

生数は、19年度より7千人(7.7%)の減で、8万7千人となり、9万人を割った。

◆「現役志願率」は19年度より1.3ポイントアップ

大学・短大への現役志願率(20年3月の高校卒業者に占める現役受験者数の割合)は60.1%で、19年度より1.3ポイントアップした(図①・表2参照)。

大学・短大別では、大学は19年度より1.6ポイント増の53.5%、短大は0.3ポイント減の6.6%だった。大学の現役志願率のアップは、従来の短大受験生層や専修学校(専門課程)受験層の一部などが大学受験へシフトしていることが大きな要因とみられる

◆「浪人を含む大学・短大受験生数」は74.4万人

過年度卒業者(浪人:8万9千人)を加えた大学・短大受験生数(実数:高認等を除く)は74万4千人で、19年度より2万7千人(3.6%)減少した(表2参照)。

大学・短大別にみると、大学では67万人(前年度比2.8%減)、短大は19年度に比べて8千人(9.6%)減少の7万4千人となり、8万人割れとなった。(図①参照)。

■大学・短大への入学状況

◆「大学・短大への入学者数」は2ポイントダウン

大学・短大への入学状況をみると、入学者数(高認等含む)は68万4千人で、19年度より1万4千人(2.0%)減少となった(表2参照)。

大学・短大別では、大学が60万7千人で、19年度より6千人(1.1%)の減少。短大は19年度より7千人(8.6%)減の7万7千人であった。

◆「大学入学率」は88.0%

大学・短大受験生数(高認等を除き、浪人含む)に対する入学者数の割合(入学率)は89.4%で、19年度より1.2ポイント上昇した。このうち大学の入学率は88.0%で、19年度より1.4ポイント上昇している。

●高校卒業者(現役)における進学状況の推移 (表1)

年 度	高校 卒業者数	大学・短大等 進学者数	大学・短大等現役進学率(%)		
			計	男	女
平成7年	1,590,720	597,986	37.6	29.7	45.4
8年	1,554,549	605,619	39.0	31.8	46.0
9年	1,503,748	611,431	40.7	34.5	46.8
10年	1,441,061	611,841	42.5	37.2	47.6
11年	1,362,682	602,078	44.2	40.2	48.1
12年	1,328,940	599,779	45.1	42.6	47.6
13年	1,327,109	599,026	45.1	43.1	47.1
14年	1,315,079	589,826	44.8	42.8	46.9
15年	1,281,656	572,181	44.6	42.7	46.6
16年	1,235,482	560,055	45.3	43.6	47.1
17年	1,203,251	568,710	47.3	45.9	48.7
18年	1,172,087	578,525	49.4	48.1	50.6
19年	1,148,108	587,999	51.2	50.0	52.5
20年	1,089,261	575,687	52.9	51.4	54.3

(注)12年度以降の高卒者数には中等教育学校分を含む。進学者数には通信制を含む。

●大学・短大への入学状況の推移 (表2)

年 度	受験生数(人)		入学者数 (人)	現役志願率 (%)
		現役		
平成6年	1,165,339	885,366	805,710	53.4
7年	1,132,684	862,017	801,317	54.2
8年	1,096,198	845,060	800,023	54.4
9年	1,046,580	820,737	794,234	54.6
10年	992,722	792,567	782,173	55.0
11年	931,847	756,149	758,532	55.5
12年	889,194	738,443	741,146	55.6
13年	880,733	741,141	734,199	55.9
14年	876,568	737,991	730,778	56.1
15年	854,203	713,651	717,814	55.7
16年	827,246	687,187	704,535	55.6
17年	797,242	672,468	703,191	55.9
18年	779,719	672,622	693,794	57.4
19年	771,528	674,693	698,209	58.8
20年	744,106	655,043	684,498	60.1

(注) 受験生数は大学(学部)と短大(本科)の合計。受験生数には高認等を含まない。
入学者数には、高認等を含む。

■「現役」の大学・短大進学状況

◆「現役進学率」は過去最高の 52.9%

高校新卒者(中等教育学校含む)の進路別調査では、大学・短大等(大学学部、短大本科、大学・短大の通信教育部等)への進学者数は57万6千人(前年度より1万2千人減)。

大学・短大等への現役進学率は過去最高の52.9%(前年度比1.7ポイント増)で、男女別にみると、男子は51.4%、女子は54.3%と共に過去最高となった。(表1参照)。

◆都道府県別の現役進学率トップは京都の 64.5%

中等教育学校卒業者を含まない高校卒業者の大学・短大等への現役進学率は、石川、鳥取を除く都道府県で増加した。トップは京都(64.5%)、次いで東京(63.8%)、広島(61.6%)と続く。アップ率が顕著だったのは、高知(3.2ポイント増)、神奈川(3.1ポイント増)、熊本(2.8ポイント増)などで、12エリアが2.0ポイント以上アップした。この結果、全国平均の進学率も19年度より1.6ポイント上昇して52.8%となった。(表3参照)。

●現役進学率(大学等)が全国平均を上回った都府県 (表3)

順位	都府県名	進学率(%)	前年度増減(ポイント)	順位	都府県名	進学率(%)	前年度増減(ポイント)	順位	都府県名	進学率(%)	前年度増減(ポイント)
1	京都	64.5	1.5	7	山梨	57.6	1.3	13	埼玉	55.1	2.4
2	東京	63.8	2.4	8	奈良	57.5	1.6	14	富山	54.6	1.0
3	広島	61.6	2.3	9	大阪	57.1	1.5	15	石川	54.5	-0.1
4	神奈川	60.3	3.1	10	福井	56.8	1.3	16	千葉	53.3	2.1
5	兵庫	59.3	1.3	11	滋賀	56.8	1.3	17	群馬	52.9	2.3
6	愛知	58.4	0.7	12	岐阜	55.3	1.8				

(注) 現役進学率(中等教育学校卒業者は含まず)の全国平均は、52.8%(大学・短大の通信教育部への進学を含む)。

■「浪人含む」大学・短大進学率は55.3%

◆男女とも進学率は過去最高

浪人や高認等も含めた大学・短大への進学率とは、進学適齢期の18歳人口123万7千人(ここの18歳人口は、3年前の中学校卒業生数及び中等教育学校の前期課程修了者数を適用)に対する、大学・短大の入学者数68万4千人の割合である。

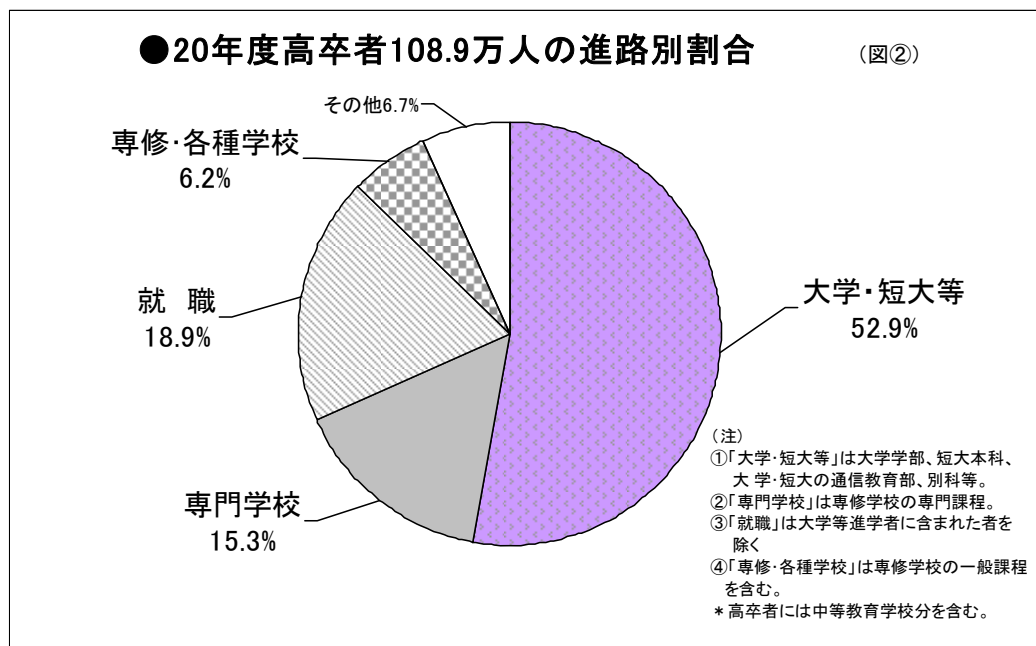
この進学率は6年連続で増加し、55.3%で過去最高。大学に限ってみると、入学者数は19年度より6千人減少したが、18歳人口の減少幅が大きい(6.2万人<4.8ポイント>減)ため、進学率は49.1%(前年度より1.9ポイント上昇)で過去最高を記録。なお、短大の進学率は0.2ポイント低下の6.3%であった。

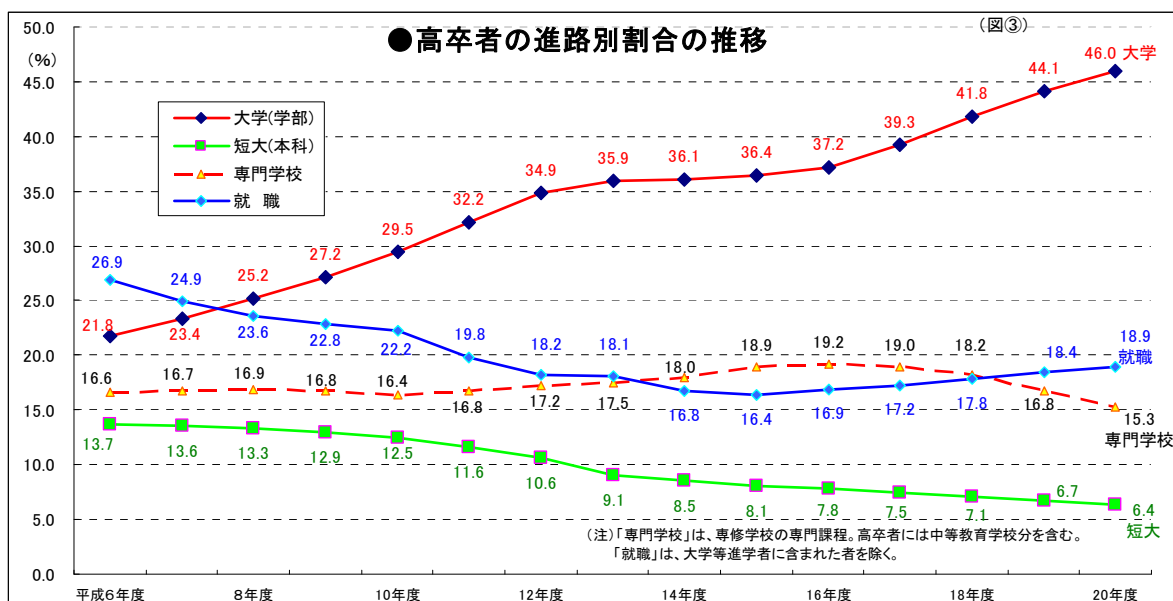
男女別は、男子が56.5%(前年度より1.6ポイント増)。女子は54.1%(同1.6ポイント増)。

■新規高卒者の進路状況

今春高校を卒業した108万9千人の進路先は、大学・短大等52.9%、専門学校(専修学校の専門課程)15.3%(同1.5ポイント減)、就職18.9%(同0.5ポイント増 *大学等進学者に含まれる者を除く)、専修・各種学校6.2%(同、増減なし)。「その他」のうち、進学も就職もしない者は4.9%(5.4万人)となっている(図②参照)。

進路別割合の推移は、大学の増加に対し、短大の減少が目立つ。また専門学校も16年度から減少傾向が続いている。従来は短大や一部の専門学校へ進学していた層から、大学への流入があるとみられる。一方、就職者は16年度から上昇に転じており、経済の好転が反映された結果といえよう。(図③参照)





■大学数・短大数と学生数

◆大学は9校増、短大は17校減

大学数(5月1日現在。大学院大学を含む。通信教育のみを行う大学は除く。以下、同)は、国立86校・公立90校・私立589校の計765校で19年度より9校増加。短大数は、国立2校・公立29校・私立386校の計417校(17校減)であった。

*本調査では、学生在籍中は学生募集停止の学校もカウントする。

◆女子の学生数は過去最高を記録

大学(大学院を含む)の学生数は19年度より7千人増の283万5千人。このうち女子は19年度より1万3千人増え、114万人となり、その占める割合は40.2%(前年度比0.4ポイント上昇)で過去最高。

なお、学部の学生数は252万人で、19年度より5千人増加し過去最高。一方、大学院の学生数は19年度より1千人増の26万3千人で、こちらも過去最高となった。

短大の学生数は、19年度より1万4千人(7.5ポイント)減の17万3千人となった。(表4参照)。

●大学・短大学生数(男女別) & 女子占有率の推移

(表4)

年 度	大学学生数(人)				短大学生数(人)			
	計	男	女	女子占有率(%)	計	男	女	女子占有率(%)
平成6年	2,481,805	1,706,156	775,649	31.3	520,638	42,829	477,809	91.8
7年	2,546,649	1,724,756	821,893	32.3	498,516	43,077	455,439	91.4
8年	2,596,667	1,732,520	864,147	33.3	473,279	43,989	429,290	90.7
9年	2,633,790	1,734,356	899,434	34.1	446,750	43,821	402,929	90.2
10年	2,668,086	1,737,215	930,871	34.9	416,825	41,453	375,372	90.1
11年	2,701,104	1,741,614	959,490	35.5	377,852	38,111	339,741	89.9
12年	2,740,023	1,747,711	992,312	36.2	327,680	33,990	293,690	89.6
13年	2,765,705	1,739,307	1,026,398	37.1	289,198	31,091	258,107	89.2
14年	2,786,032	1,726,088	1,059,944	38.0	267,086	30,057	237,029	88.7
15年	2,803,980	1,716,549	1,087,431	38.8	250,062	29,972	220,090	88.0
16年	2,809,295	1,708,456	1,100,839	39.2	233,754	29,291	204,463	87.5
17年	2,865,051	1,740,151	1,124,900	39.3	219,355	28,224	191,131	87.1
18年	2,859,212	1,731,738	1,127,474	39.4	202,254	25,092	177,162	87.6
19年	2,828,708	1,701,957	1,126,751	39.8	186,667	21,757	164,910	88.3
20年	2,835,242	1,695,380	1,139,862	40.2	172,726	19,208	153,518	88.9

(注)大学学生数には大学院等を、短大学生数には別科・専攻科等をそれぞれ含む。

■21年度「大学・短大受験生数」は73.5万人

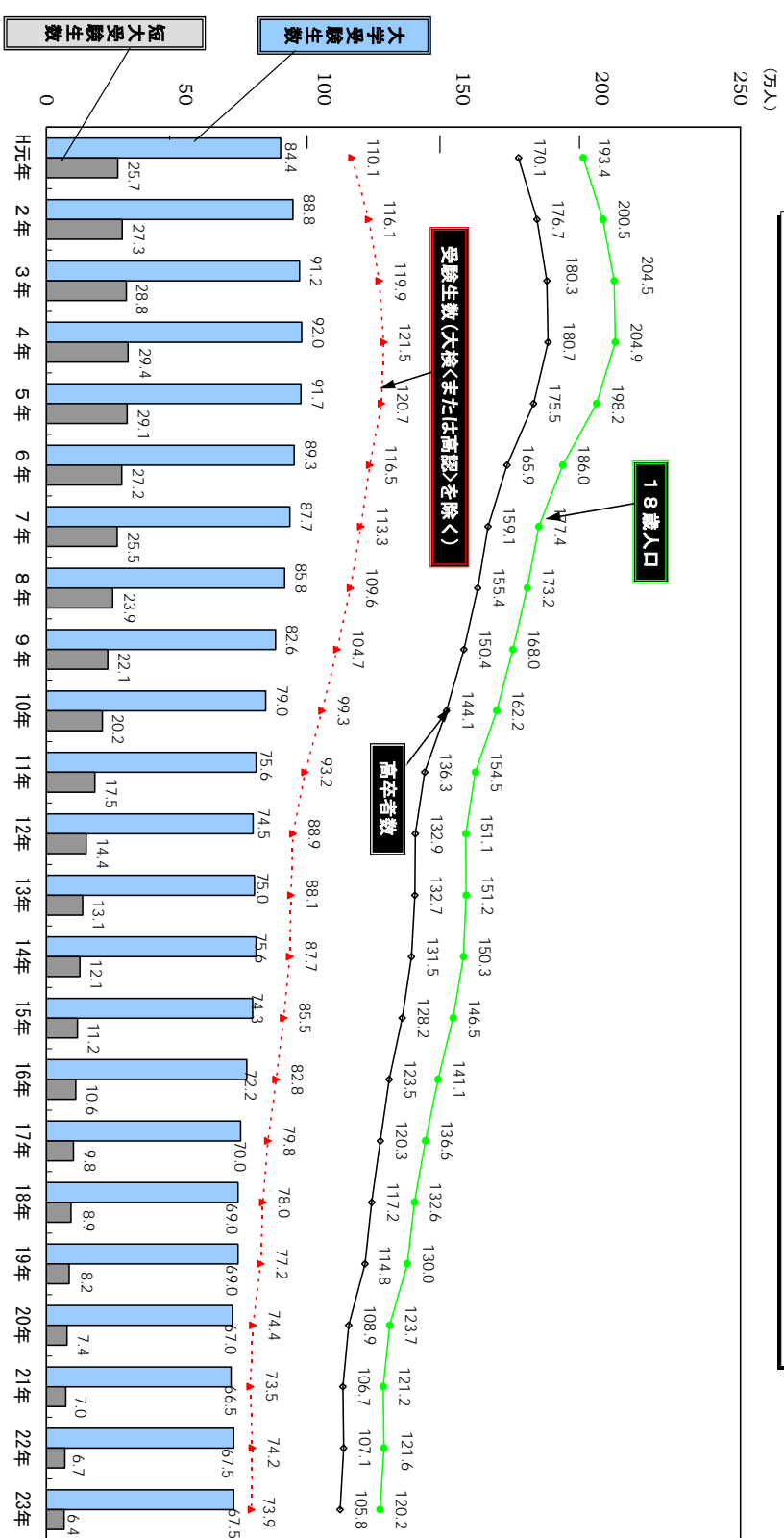
旺文社教育情報センターでは、今回（20年度）の学校基本調査速報を基に21年度の受験生数を推定した。大学・短大受験生数（高認を除く）は73万5千人（前年度1.2%減）。内訳は、大学受験生数が66万5千人（同、0.7%減）、短大受験生数が7万人（同、5.4%減）となるもよう。（図①参照）

なお、17年1月、中教審大学分科会が、“19年度大学・短大全員入学”の予測（収容力100%；入学者数<高認等を含む>÷受験生数）を提示したが、今回の『学校基本調査速報』の実績をみると、大学・短大の収容力は92.0%（大学の収容力は90.6%）となり、試算を大幅に下回り、数字上の“全入”はさらに先延ばしとなった。

しかし、私立大学で266校（全校数の47.1%）、私立短大で243校（全校数の67.5%）の入学生員割れ（20年度）が出ている現状では、地方・小中規模校での“実質全入”の大学・短大が続出しており、大都市・大規模校との2極化がさらに進行しているのが実態といえよう。

※次ページに図①「18歳人口・高卒者数&大学・短大受験生数の推移」掲載

18歳人口・高卒者数&大学・短大受験生数の推移 (図①)



進学率 (%) (含む浪人)	36.3	36.3	37.7	38.9	40.9	43.3	45.2	46.2	47.3	48.2	49.1	49.1	48.6	48.6	49.0	49.9	51.5	52.3	53.7	55.3	56.7	57.7	58.5
現役志願率 (%)	48.5	49.2	50.2	51.0	52.4	53.4	54.2	54.4	54.6	55.0	55.5	55.6	55.9	56.1	55.7	55.6	55.9	57.4	58.8	60.1	61.4	62.6	63.8

【注】平成20年以前は実数、21年以降は旺文社による推定値。18歳人口は、3年前前の中学校卒業者数と中等教育学校前期課程修了者数の合計。受験生数は、大学入学資格検定（18年度から高等学校卒業程度認定試験）合格者を除く。進学率および現役志願率は、大学・短大合計から算出。

© 旺文社 教育情報センター/2008.8



Wangan University